

科目名称：	英語コミュニケーションⅠ（美術学科）		
担当者名：	ガート・ウエスタハウト		
区分	授業形態	単位数	
基礎教育科目	演習	1	
授業の目的・テーマ			
英語の歌、ゲーム、活動、語彙、言い回しを体得していきます。これは国際理解の一助にもなります。美術作品や芸術家を通して英語も勉強します。さらに、学業や職業における人としての資質を磨くことを重視し、責任ある態度、時間厳守、物事への積極的な参加、組織作り、自己や他者に対する思いやりを大切にすることを目的とします。この授業は単なる講義ではないので、積極的な参加が求められます。			
授業の達成目標・到達目標			
学生が将来各々の職場において英語を使うための技術と方法を修得することです。			

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)		45		55	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識	教材の内容をよく読み、理解することができる	教材をゆっくり読むことができる。ある程度理解できる。	わからないことを調べながら ゆっくり読むことができる。	教材をあまり読めず、理解もできていない
理解の視点と表現	自信を持ってわかりやすく表現することができる	促されると自分の言葉で表現することができる	自信はないが表現ができ、すべての約束事は守れる	発表もできず、約束も時間もルーズ。
学びへの積極性	質問や意見など、講義内で毎回1回以上発言できる	質問や意見など、講義内でたびたび自発的に表現できる	質問や意見など、時々表現できる	講義に対して、聞く気がなく、居眠り、私語などがある

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 Introduction	read this syllabus	10分
第2回 Art English	write world info sheet	45分
第3回 World Culture Introduction - Asia	review Asia information	45分
第4回 Begin country report	begin country report research; study for quiz	45分
第5回 Quiz 1; World Culture - Europe	review Europe; continue research	45分
第6回 Introduction to poetry	review poetry	45分
第7回 Writing poetry; World Culture - Africa	review Africa; finish country report	45分
第8回 Country report presentations; begin artist reports	Comment on reports; start artist research	45分
第9回 World Culture - South America	review South America; continue research; study for quiz 2	45分
第10回 Quiz 2, introduction to drama and skits	read skits	45分
第11回 World Culture - North America; practice skits	practice skits; review North America	45分
第12回 Student skits (presentation)	comment on skits; look up Oceania and Antarctica	45分
第13回 World Culture - Oceania and Antarctica	finish artist report	45分
第14回 Artist report presentations	study for quiz 3	45分
第15回 Quiz 3, interviews	evaluation	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。クイズ3回 @ 15% (45); 発表 2回 @20% (40); 参加力@15% (15) = 100%

課題に対するフィードバック

プレゼン資料の下書きと最終版についてコメントする。学期中には学生の進捗を確認し、支援が必要な場合は対応する。

教科書・参考書

プリントのみ